持続的な地域社会と獣害対策

～ 過去の優良事例から考察する地域と技術の力 ～

兵庫県立大学　自然・環境科学研究所
（併任）兵庫県森林動物研究センター
山端　直人

1

自己紹介

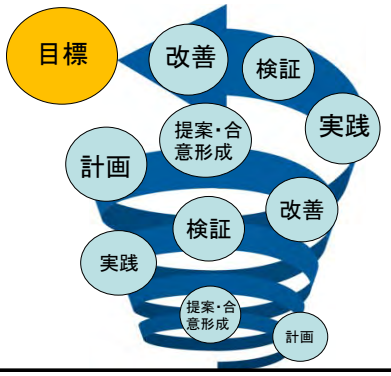
山端　直人　三重県農業研究所
→兵庫県立大学自然・環境科学研究所
（兵庫県森林動物研究センター併任）

専門：「農村計画」「アクションリサーチ」
「野生動物の被害管理」
→そのための地域づくり

～社会調査、集落支援、
被害防除から捕獲までの実証研究～

3

アクションリサーチ
長期に「共同で」「改善」していく「実践」



6

集落や地域で獣害の改善方法を「提案」し「課題解決」を図る実践

7

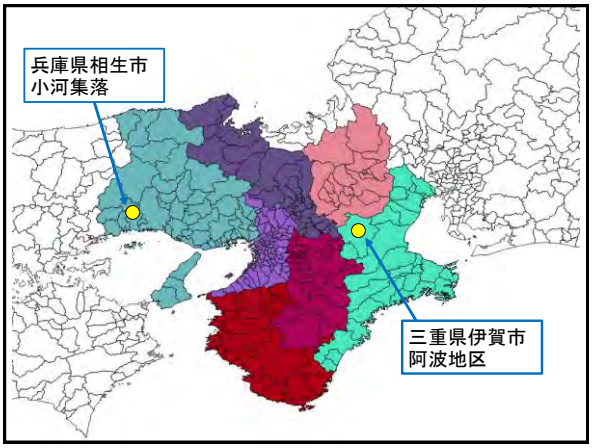
自身で関わった

過去の受賞対象地域での獣害対策を通じ

■獣害対策を維持する集落機能
■技術や支援の在り方

を考えてみたい

8

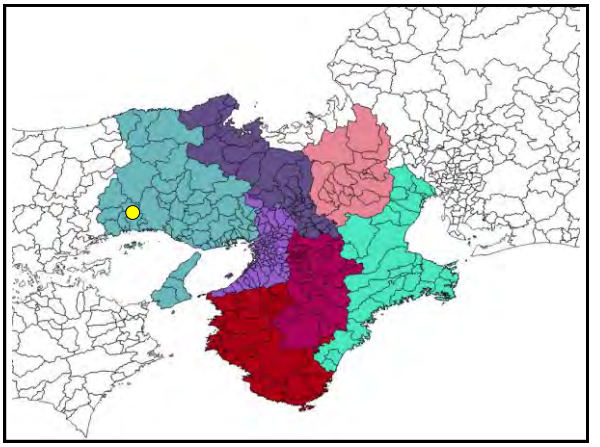


9

兵庫県
相生市小河集落

イノシシ、シカ対策
集落主体の防護+捕獲

10



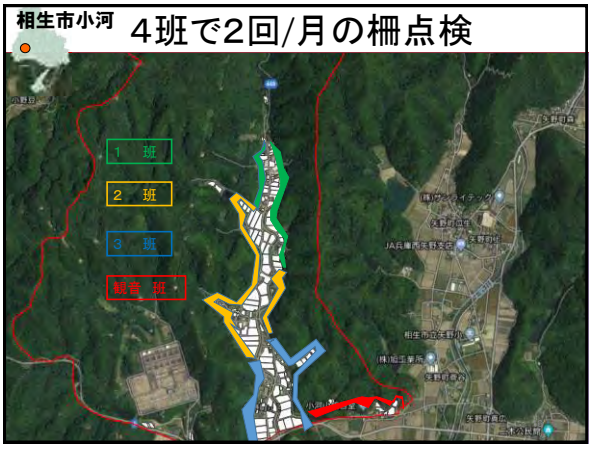
11

14

地域施WM柵（鉄柵）を設置

15

15



16

設置したWM柵は地域で点検

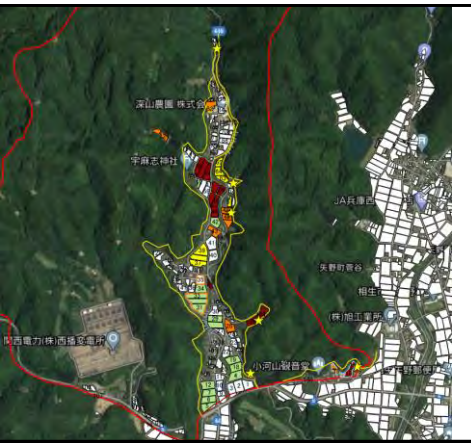
17

17

設置したWM柵は地域で点検

19

19



24

25

25

27

27

■シカの被害は軽減

■しかし、川・一般道路の開口部から、イノシシ、シカの侵入があり十分には被害が解消しない

30

30

提案：地域で捕獲は？

31

31

集落で捕獲を！

■地域には捕獲者がいない

■猟友会も小河では檻の設置をしない

■H29開始

■集落で1名が免許取得（箱罠）

■檻は3基購入・その後5基増設

■エサ管理などは集落全体で分担

32

32

地域で箱罠を設置して捕獲

35

加害個体を捕獲！

37

箱罠は地域でこまめに移設

44

44

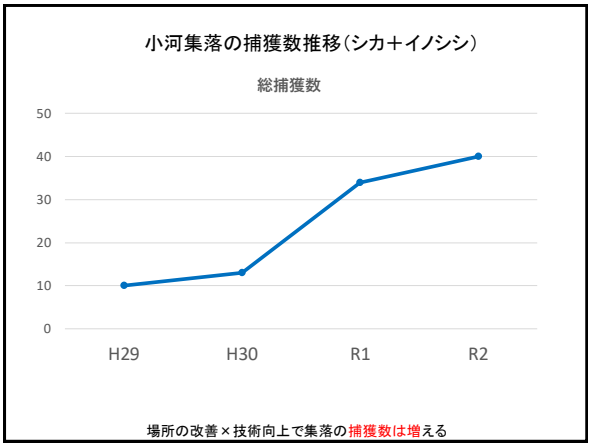
箱罠は地域でこまめに移設

45

45

結果：捕獲の成績は？

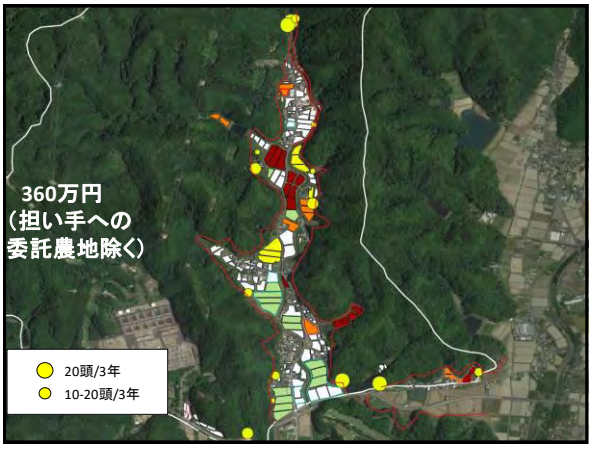
54



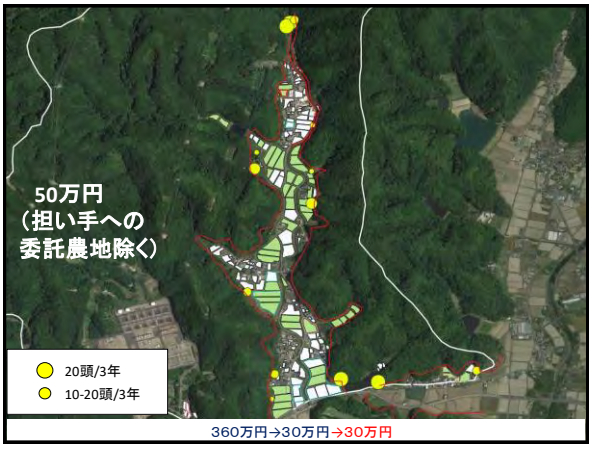
55

結果：被害は？

56



58



59

60

結果：住民の意識は？

61

こういう意見が出る集落が増えれば

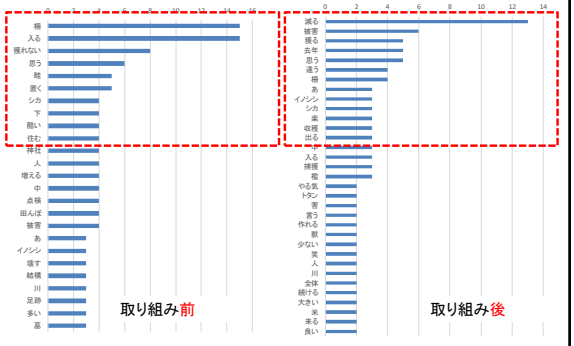
■獣害は、集落皆の問題なので、(防護柵も捕獲も)皆で協力し合おう
■被害は(完全になくなってるわけではないが)去年の農業共済は「ゼロ」だった

62

R2年度に局長賞受賞

64

対策の前と現在のインタビュー時の頻出語の変化（2021山端投稿中）



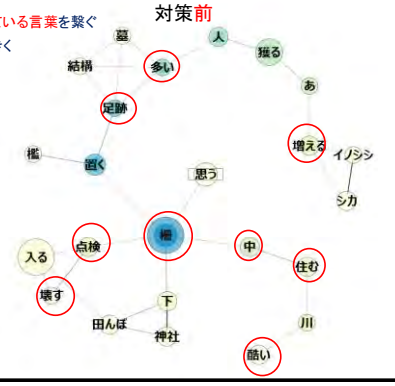
注：同一人物、5名、60分程度のインタビューによる

66

対策の前と現在のインタビュー時の共起ネットワーク 2021山端（投稿中）

対策前

●共に使われている言葉を繋ぐ
●頻出語は大きく

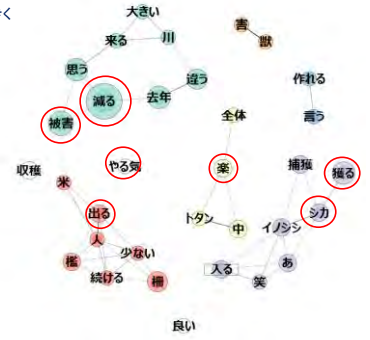


67

対策の前と現在のインタビュー時の共起ネットワーク 2021山端（投稿中）

対策後

●共に使われている言葉を繋ぐ
●頻出語は大きく



68

対策の前と現在の頻出語と共起ネットワークの変化

対策前　柵は点検してても中に入って、集落内に住んでいる。被害は酷い

対策後　全体に被害は減った。やる気も出てくる。米も作れる。

被害感情は緩和し、意欲(営農意欲含め)も向上している様子

69

問い：獣害対策の
目的は？

70

農業を維持する。
暮らしやすい集落を作る。

小河での地区活動状況

71

農業を維持する。
暮らしやすい集落を作る。

地区での活性化活動（とんど焼き）

73

73

農業を維持する。
暮らしやすい集落を作る。

76

農業を維持する。
暮らしやすい集落を作る。

小学生低学年を招き商品「ゆず大福」の体験製造

78

問い：集落活動の
原点は？

79

江戸期からの「ため池保全」

集落活動の目的として、共有できるものの存在

80

江戸期からの「ため池保全」

集落活動の目的として、共有できるものの存在

81

問い：獣害が軽減した後は？

83

小河の将来を考える会

農地をどう守るか、維持するかを考える⇒獣害対策はその1つ

84

ここまでのまとめ

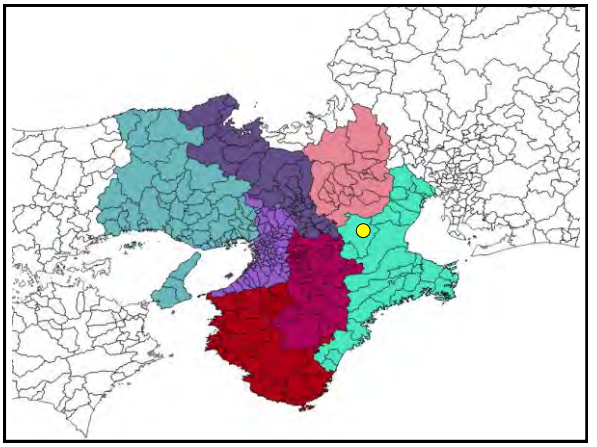
- 小河集落でも人口も戸数も当然減少している
- 獣害が営農継続の阻害要因の1つ。被害軽減により営農意欲も向上
- 獣害対策は手段であり、集落を維持や暮しを守ることが目的
- そのための多様な集落活動の1つが獣害対策
- 共有できる目的の重要性

85

三重県
伊賀市阿波地区

ニホンザル対策
集落主体追い払いと防護柵

86

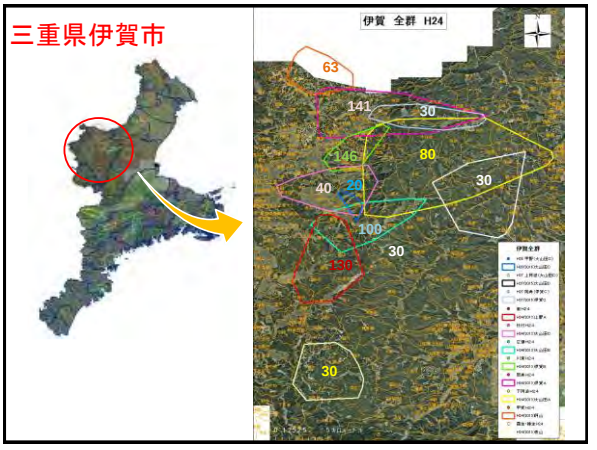


87

伊賀市の最奥部の学校区（7集落）

88

三重県伊賀市



89

数年前のサル群や集落の様子。現在、この問題はほぼ解決しています。

90

■だから「役所が」「誰か」なんとかしろ？

■住民の役割は？　行政の役割は？

■ここには、種々の地域社会の問題に共通する課題が見えます

→獣害（に限らず）を真剣に考えると、種々の地域社会の問題解決につながる（？）

91

提案：地域で追い払う？

92

追い払いの研修会（提案⇒実践）

93

94

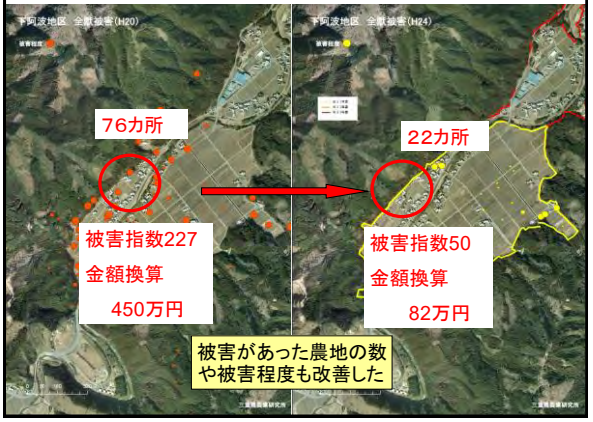
効果が出た追い払いの行動様式

95

結果：被害は？（アンケート）

96

S地区のH20年とH23の全獣害の比較　（山端2011、2014）



97

提案：柵をする？

98